



「本はこころのパンである」

鈴鹿医療科学大学附属図書館 館長 藤原 芳朗



2025年の読書週間のメインテーマは「こころとあたまの、深呼吸。」だそうである。ポスターをみれば、澄んだ秋空にふかふかの布団とみまがう白く開いた本の上に寝ころぶ青年の傍らに、数冊の本が置いてある。満足な読後感を覚え気持ちの良い寝顔がみえる。まさに心も頭も屈託やストレスから解放されているようにみえる。そして、大人から子どもまでの誰もが斯くありたいと憧れる状況なのではないでしょうか。

さて、私たちの日常はストレスフルな日々が続くためか、心療内科の受診者や精神科病院の入院患者数は右肩上がり。厚生労働省 社会・援護局 障害福祉部 精神 障害保健課の報告書（令和5年）には、精神疾患を有する総患者数は603万人。その内、外来576.4万人、入院26.6万人と報告されています。人間関係の悪化、納期に迫られる、長時間労働、厳しい社内規定やノルマなど、心身に負担がかかる職場環境、忙しすぎて休めない、余裕がない毎日、クレーム対応やトラブル処理など、精神的に消耗することの繰り返しにウンザリと捉えている人が多いことの証左がこの数字となっているのでしょうか。実際に「カスハラ」、「モラハラ」、「セクハラ」、「パワハラ」、「マタハラ」等、ハラスメント関連の略語が氾濫している昨今です。

国民医療費が49兆円を超え、その中でも入院医療費が半分以上を占めている点が問題とされ、現在、国は長期入院患者が多い病院の点数を下げるなどの措置を実施しているが人口の高齢化や高額な薬剤の使用などにもよって医療費は増加の一途をたどっています。とりわけ、精神科の平均入院日数は日本300日、ドイツ22日、スウェーデン17日、アメリカにいたっては僅か7日です。人口10万対での精神科ベッド数もアメリカの9倍も日本は有している。私たちの国民性はそれほど傷つきやすいところを持っているのでしょうか。それとも欧米では自傷・他害には無関心なののでしょうか。

ともあれ、読書の秋である。心も頭もしがらみや心配事、悩みから解き放ち、「本はこころのパンである」の格言もあるように自分の好きな作家や大切な書籍を日々が忙しくとも、忙しいからこそ秋の夜長に手にしてもらいたいものです。よくある質問に「無人島でしばらく生活すると仮定して、1冊だけ本を持っていくなら？」という問いがある。皆さんは何の本をもっていきますか。私は『歎異抄』と躊躇なく答えるでしょう。こころとあたまの深呼吸にはならないでしょうが、何度読んでも面白く、そして解らない。

解らないから何度でも読みたいのです。

開館カレンダー

通常	9:00-21:00
休日開館	10:00-17:00
閉館	-

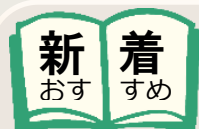
本館 10月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

分館 10月

※10/17(金)～10/30(木) 学外者利用制限日

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	



H = 千代崎本館
B = 白子分館





スマホで

OPAC活用!

利用者サービスを使ってみよう

- ・貸出・予約状況照会
- ・学生希望図書リクエスト
- ・リクエスト状況照会
- ・パスワード変更
- ・利用者情報編集

1 QRコードを読みとれば



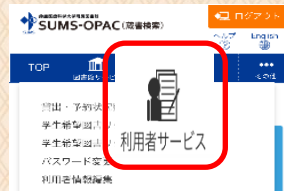
https://opc.suzuka-u.ac.jp/opac/opac_search/

2 OPAC画面で、誰でもどこでも蔵書を検索



ログインすれば

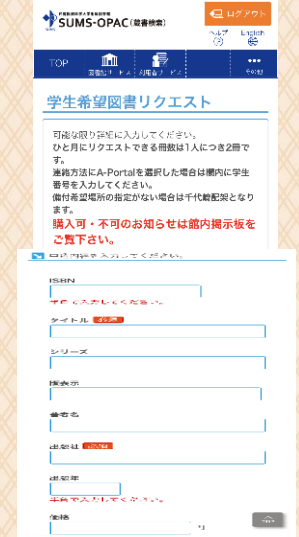
3 利用者サービス使えます



貸出・予約状況照会
学生希望図書リクエスト
学生希望図書リクエスト状況照会
パスワード変更
利用者情報編集

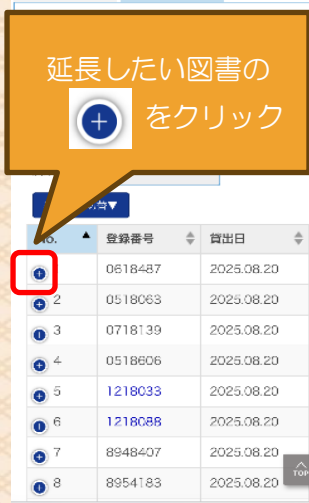
※教職員学生さんのみ

4 読みたい図書をリクエスト

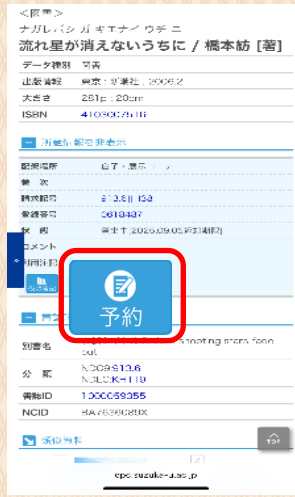


5 貸出予約状況照会からOPAC貸出延長

※1回のみ
予約本は不可



6 この本は！！はデリバリー予約



※館移動や貸出中のみ

7 書評でシェア



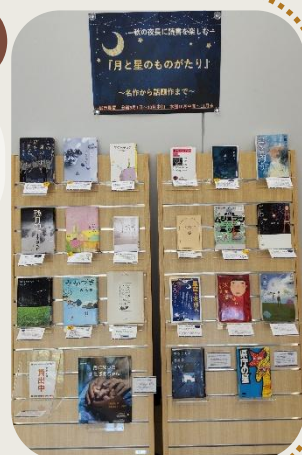
※10月中旬展示館
入れ替えます。

今月の展示



千代崎：読書週間 2025
若い人に贈る読書のすすめ

白子：月と星
のものがたり



編集後記

非来館でも利用できるサービスを今回紹介しました。いつでもどこでも図書館を利用できる時代となっています。学生時代の思い出の場所に図書館があるようにスタッフ一同、がんばります。

鈴鹿医療科学大学 附属図書館だより
秋号 発行日：2025年10月5日
編集・発行：鈴鹿医療科学大学
附属図書館